岩手県の土地改良

2016(5月) No.571

■発行所／岩手県土地改良事業団体連合会　盛岡市本宮二丁目10番1号
TEL(盛岡)019(631)3200　FAX(盛岡)019(631)3260
■編集発行人／田山　清　■印刷所／永代印刷株式会社
http://www.iwatochi.com

みどり 水土里ネット いわて

CONTENTS

●水土里ネットいわて第58回通常総会を開催…… 2
●平成27年度土地改良功労者表彰 …… 3
●本県から5団体、2氏が栄誉に輝く …… 4
●平成27年度活動状況と平成28年度活動計画を審議… 5
●岩手県土地改良区運営基盤強化基本方針が承認される… 5
●農政新時代に向けて決意を新たに …… 6
●用水施設運転の安全と豊穣を願って …… 6
●「現地確認用タブレット」 …… 7
●非補助農業基盤整備資金のご案内…… 7
●平成28年度　水土里ネットいわて　事務局体制図…… 8
●平成27年度　水土里ネットいわて　資格取得者…… 8

「息を合わせて」　田村　雅子
平成27年度「農村景観」写真コンクール　人物部門　優秀賞

水土里ネットいわて第58回通常総会を開催
― 提案９議案を可決承認 ―

本会では、３月28日に藤原崇衆議院議員、主濱了参議院議員をはじめ、西岡篤彦東北農政局次長、工藤大輔岩手県議会副議長ほか多数の来賓出席のもと、第58回通常総会を開催し平成28年度事業計画など９議案を審議した。

開会にあたり及川会長は「東日本大震災津波から５年の歳月が経ち、岩手県では本年を『本格復興完遂年』と位置付けている。本会としても復興の一助となるよう職員派遣をはじめとした支援を継続していきたい。

本会においては、昨年策定した第２次中期運営計画の組織目標に定めた『農業・農村のセーフティーネットを目指して』を掲げ、会員への支援をはじめ、農業の競争力強化に向けた政策目標や国の謳う農政新時代への対応、そして、本県の復興に向けて国や県、関係機関と連携し役職員一丸となって努力していく」と述べた。

引き続き、平成27年度土地改良功労者表彰が行われ、永年にわたり農業農村整備事業の推進や、土地改良区運営に貢献した役員７名と職員13名に対し、及川会長から表彰状と記念品が授与された。

表彰式終了後、米川次郎安代土地改良区理事長が議長に選任され、議案審議が進められた。

【挨拶をする及川会長】

議事では、定款及び規約の一部改正、平成27年度一般会計収入支出二次補正予算及び平成28年度事業計画など９議案が、原案どおり全会一致で可決承認された。

最後に、『国が農業・農村の整備予算を確保し、農地集積の推進と老朽化した農業水利施設の更新、被災地域の復興予算の確保、多面的機能支払制度の効率的･効果的な推進、水土里ネットの運営基盤強化、中山間地域における生産基盤整備の推進』等を求める決議文を、満場の拍手で採択して総会を終了した。

決　議

― 国においては、安定的・計画的な農業農村の整備が進むよう、平成29年度当初予算においては、現場のニーズに十分に応えられる規模の予算を確保すること。さらに、TPP対策として、我が国の農業生産に対する影響が極力抑制されるよう、政府全体で責任を持って毎年度必要な予算措置を講ずること。

― 農地集積を進め、生産費の低減や高品質・高収益作物生産の前提となる水田の大区画化・汎用化を着実に推進するとともに、農業用水の安定的な供給を確保するため、老朽化した農業水利施設の更新を一層進めること。

― 生産性・収益性の一段と高い農業の展開によって東日本大震災津波からの復興を実感することができるよう、復興予算を確保すること。

― 多面的機能支払制度の推進に当たっては、地域協議会や水土里ネットがこれまで培った技術、経験など持てる能力を十分発揮し、制度の効率的・効果的な推進に貢献できるよう、十分な予算を確保すること。

― 構造改革の推進による組合員の減少や電力料金の値上げなど、水土里ネットの運営基盤が揺らいでいる中、今後とも担い手等の求める施設の高度な維持管理が行えるよう、農事用電力の維持など水土里ネットの運営基盤の強化を図ること。

― 県においては、本県農地の八割が中山間地域に占めている特質に配慮し、生産基盤の整備を進めること。

平成28年3月28日　岩手県土地改良事業団体連合会　第58回通常総会
「農業・農村のセーフティーネットを目指して」

― 平成27年度土地改良功労者表彰 ―

●役員の部

氏名	所属	役職名
藤原善一	鹿妻穴堰土地改良区	理事
柳田勇雄	豊沢川土地改良区	理事
菅原盛正	豊沢川土地改良区	理事
伊藤慶吉	豊沢川土地改良区	総括監事
継枝利孝	大迫町土地改良区	前理事
佐藤孝	藤沢土地改良区	第一監事
八重櫻友夫	久慈市土地改良区	副理事長

●職員の部

氏名	所属	役職名
星川政則	鹿妻穴堰土地改良区	総務課総務係長
佐々木久仁子	岩手山麓土地改良区	総務課会計主任
上田由喜子	紫波東部土地改良区	会計課長
高橋康喜	豊沢川土地改良区	ダム係主任
阿部忠勝	豊沢川土地改良区	水路管理人
伊藤祐樹	岩手中部土地改良区	総務課会計主任兼会計係長
中村英司	岩手中部土地改良区	調査換地課換地係長
宍戸朋夫	岩手中部土地改良区	賦課徴収課賦課徴収係主査
千田智和	胆沢平野土地改良区	企画換地課換地係主任
今野徹	胆沢平野土地改良区	水利整備課用排水係主事
大村儀樹	胆沢平野土地改良区	水利整備課施設係主事
千葉佐知子	胆沢平野土地改良区	賦課徴収課賦課徴収係主事
柏木賢治	江刺猿ヶ石土地改良区	総務課長補佐兼会計係長

【及川会長（前列中央）と土地改良功労者表彰受賞者】

本県から5団体、2氏が栄誉に輝く
― 全国水土里ネット表彰式が開催 ―

３月25日、第57回全国土地改良功労者表彰式並びに21世紀土地改良区創造運動表彰式が東京都砂防会館にて開催され、森山裕農林水産大臣、末松広行農村振興局長をはじめ多数の来賓の方々が出席した。

この全国土地改良功労者表彰は良好な運営を継続している土地改良区と、土地改良区の運営に多大な貢献をされた個人を表彰するもので、128土地改良区、個人107名が受賞した。また、21世紀土地改良区創造運動表彰は土地改良区と地域住民が連携して農業用施設の清掃活動や催しなどを通じ、地域住民が施設の多面的機能や重要性について理解を深める取組を表彰するもので、全国から６土地改良区が受賞した。

開会にあたり二階俊博全土連会長は「本日表彰の栄に浴される皆様は、永年にわたり農業・農村の発展に日夜努力され、多大な功績を残された方々である。今後とも引き続き、土地改良事業の推進と地域振興にご尽力賜りますよう心からお願い申し上げる」と式辞を述べた。

続いて森山農林水産大臣が「農業農村整備事業は国土強靭化や地方創生など現下の政策課題に取り組んでいくうえで重要な役割を有している。この表彰が全国の地域農業振興に尽力されている方々の励みになりますことを願う」と祝辞を述べた。

本県からは山王海土地改良区が全国土地改良功労者表彰農林水産大臣賞の栄誉に浴し、鹿妻穴堰土地改良区が21世紀土地改良区創造運動表彰の最高位となる大賞に輝いた。式では、髙橋勘一山王海土地改良区理事長が登壇し、森山農林水産大臣から表彰状を授与されると、参加者から盛大な拍手が送られていた。

本県の受賞者は次のとおり。

◎第57回全国土地改良功労者表彰
農林水産大臣賞　山王海土地改良区

◎21世紀土地改良区創造運動表彰
大賞　鹿妻穴堰土地改良区

◎第57回全国土地改良功労者表彰
『団体表彰』
金章　遠野市土地改良区
銀章　北上川東部土地改良区
銀章　内之目土地改良区
『個人表彰』
役員　藤原幸夫（一関東部土地改良区理事長）
職員　中村　勉（石鳥谷東部土地改良区事務長）

【森山裕農林水産大臣から表彰状を授与される髙橋勘一山王海土地改良区理事長（写真右）】

【髙橋隆鹿妻穴堰土地改良区理事長】

【皆川清喜内之目土地改良区理事長（写真右）、阿部久夫遠野市土地改良区理事長（写真中央）、鈴木明夫北上川東部土地改良区理事長（写真左）】

【藤原幸夫一関東部土地改良区理事長（写真右）、中村勉石鳥谷東部土地改良区事務長（写真左）】

平成27年度活動状況と平成28年度活動計画を審議
― 岩手県議会NN議員クラブ通常総会･研究会を開催 ―

2月18日、岩手県議会農業農村整備推進議員クラブが通常総会を開催した。

開会に当たり、工藤勝子県議会議員が発起人を代表して挨拶し、来賓として出席した田村誠県議会議長と小原敏文県農林水産部長がそれぞれ祝辞を述べた。

議案第１号の役員の選任では、渡邉幸貫県議を新会長に選任し、引き続き議長として、平成27年度の活動状況・収支状況及び平成28年度の活動方針（案）並びに収支予算（案）

【祝辞を述べる田村県議会議長】

【研究会の様子】

について審議が進められ、全会一致で可決承認された。

その後に開催された研究会では、県農林水産部農村計画課から『本県農業農村整備事業の課題と取組方向』と題して、農業生産基盤の現状、ほ場整備を契機とした営農活動の事例、土地改良区の運営基盤強化、平成28年度農業農村整備関係予算の概要、東日本大震災津波被災農地等の復旧・復興について説明を受けた。

岩手県土地改良区運営基盤強化基本方針が承認される
― 県内5地区16土地改良区の統合整備に向けた取組を支援 ―

岩手県と本会では3月2日、土地改良区の運営基盤強化を目的とする岩手県土地改良区統合整備推進協議会を開催した。開会にあたり、及川正和協議会会長が「土地改良区は、農業用水の保全管理を通じて、農業の生産性の向上などに大きく貢献している。今後とも土地改良区が、役割をしっかり果たしていけるよう、将来を見据えた運営基盤の強化が重要である。このため、岩手県と本会では、平成32年度までの岩手県土地改良区運営基盤強化基本方針（案）を策定したところであり、策定にあたり御協力いただいた関係各位に感謝申し上げる」と挨拶した。

協議会では『第8次土地改良区統合整備基本計画の実績』を報告した後、『協議会設置規程の一部改正』と土地改良区運営基盤強化に係る今後5年間の施策の展開方向を示した『岩手県土地改良区運営基盤強化基本方針（案）』について審議を行い、全会一致で承認された。

統合整備の枠組みは、8次統合整備基本計画と同様の3つの基本要件『地区面積 300ha未満土地改良区の解消』『同一市町村』『同一水系』における統合を基に土地改良区や関係市町村との意見交換を踏まえて設定した結果、『八幡平』『一関』『花泉』『東磐井』『陸前高田』5地区16土地改良区の統合整備に向けた取組を進めていく方針となった。

また岩手県と本会は、全土地改良区の運営基盤を強化するために、統合整備の推進のほか、効率的な財政運営に向けた中長期財政計画の策定や財務状況の把握分析に優れる複式簿記の導入、維持管理計画書の整備について平成32年度までに県内の土地改良区が達成することを目標に、推進していくこととしている。

【挨拶する及川協議会会長】

農政新時代に向けて決意を新たに
― 水土里ネット役員研修会を開催 ―

１月25～26日、本会は盛岡市つなぎ温泉ホテル紫苑において『平成27年度水土里ネット役員研修会』を開催し、土地改良区役職員等312名が出席した。

開会にあたり、及川正和本会会長が「国では“新たな食料・農業・農村基本計画”や“ＴＰＰ政策大綱”を示すなど農政の新たな時代へ進むこととなった。本会にあっては昨年９月に新役員体制となり、決意を新たに『農業・農村のセーフティーネットを目指す』こととした。皆様のご指導、ご支援を願う」と挨拶した。

続いて、来賓の米田博次東北農政局農村振興部長から挨拶を頂いた。

研修の１日目は、米田部長が『ＴＰＰ交渉大筋合意を受けた農業農村整備予算について』と題し、平成28年度農林水産予算の重点事項やＴＰＰ対策における土地改良事業について説明した。続いて、伊藤栄悦県農林水産部農村建設課総括課長が、

【挨拶する米田部長】

『岩手県における農業農村整備事業の取組方向』と題し、今後の重点取組項目と、被災農地等の復旧・復興取組状況を報告した。また、進藤かねひこ都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問が『今後の農業農村振興について』と題し、全国的な視野からみた予算不足の状況や今後の農業農村振興の方向、あるいは、食料自給率を高めるために何が求められているかなどを講演した。

【講演する進藤顧問】

２日目は、農業ジャーナリスト青山浩子氏が『新たな農業の方向性』と題し、コメをはじめとした食料需要の変化に対応するため、地域特性を活用した農業経営戦略について、事例を交えて紹介した。

両日ともに参加者らは熱心に傾聴していた。

【講演する青山氏】

用水施設運転の安全と豊穣を願って
― 豊沢川土地改良区が操業安全祈願祭を開催 ―

４月７日に豊沢川土地改良区（平賀巖理事長）が『操業安全祈願祭』を開催した。

この神事は、豊沢ダム（花巻市）取水塔で執り行われ、木村俊逸東北農政局和賀中央農業水利事業所豊沢川農業水利事業建設所長ほか関係者約30名が参列し、用水施設運転の安全と豊穣を願って玉串を奉奠した。

主催者挨拶では平賀理事長が「雪不足の影響が心配されたが、現在のダム貯水量は例年と比べて、ほぼ同じ水量を維持している。今後、梅雨時期に降雨が少ない場合には番水、給水制限などの対策が懸念されるが、本年も万全な用水管理に努めていく。また、昨年は豊沢ダムの改修に係る国営かんがい排水事業豊沢川地区が採択され、既に農業水利事業建設所が開設されるなど、着実に事業の進捗が図られている。土地改良区としても積極的に本事業の推進に協力していきたい」と述べた。

【神事の様子】

恒例の神事を終えた土地改良区関係者らは、春の農作業本格化に向けて思いを新たにしていた。

「現地確認用タブレット」
― 水土里情報を利用した現地確認業務支援ツール ―

本会では、**多面的機能支払**、**経営所得安定対策（転作確認）**などの現地確認業務を支援する『現地確認用タブレット』を有償で提供している。

この『現地確認用タブレット』は、地図情報やGPS、地番検索を組み合わせて効率的に農地が特定できるほか、現地で確認した内容、場所、写真を一連で整理できる。

その他活用業務

耕作放棄地調査、災害被災調査、中山間直接支払、農業水利施設維持管理など。

現地確認用タブレット年間利用料金（税抜）

タブレット機器・通信一式　1台9万円、2台目以降7万円。

お問い合わせは、農村振興部水土里情報推進室（TEL：019-631-3207）まで

非補助農業基盤整備資金のご案内
― 長期･低利の融資を活用しませんか ―

農林漁業金融公庫の非補助農業基盤整備資金は、国の補助を受けない非補助土地改良事業の地元負担金や農業集落排水事業で設置した公共枡から各家庭までの配管敷設等の工事に利用できます。

◎対象となる事業

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道、畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水等。

◎貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合（事業主体となる場合に限る）、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方、農業振興法人、５割法人･団体（農業集落排水事業の実施に限る）。

◎融資条件

償還期限：25年以内

融資限度額：地元負担金（最低限度額50万円）

◎金利

借入時の金利は、金融情勢により変動します。最新の金利は、融資機関にご照会下さい。

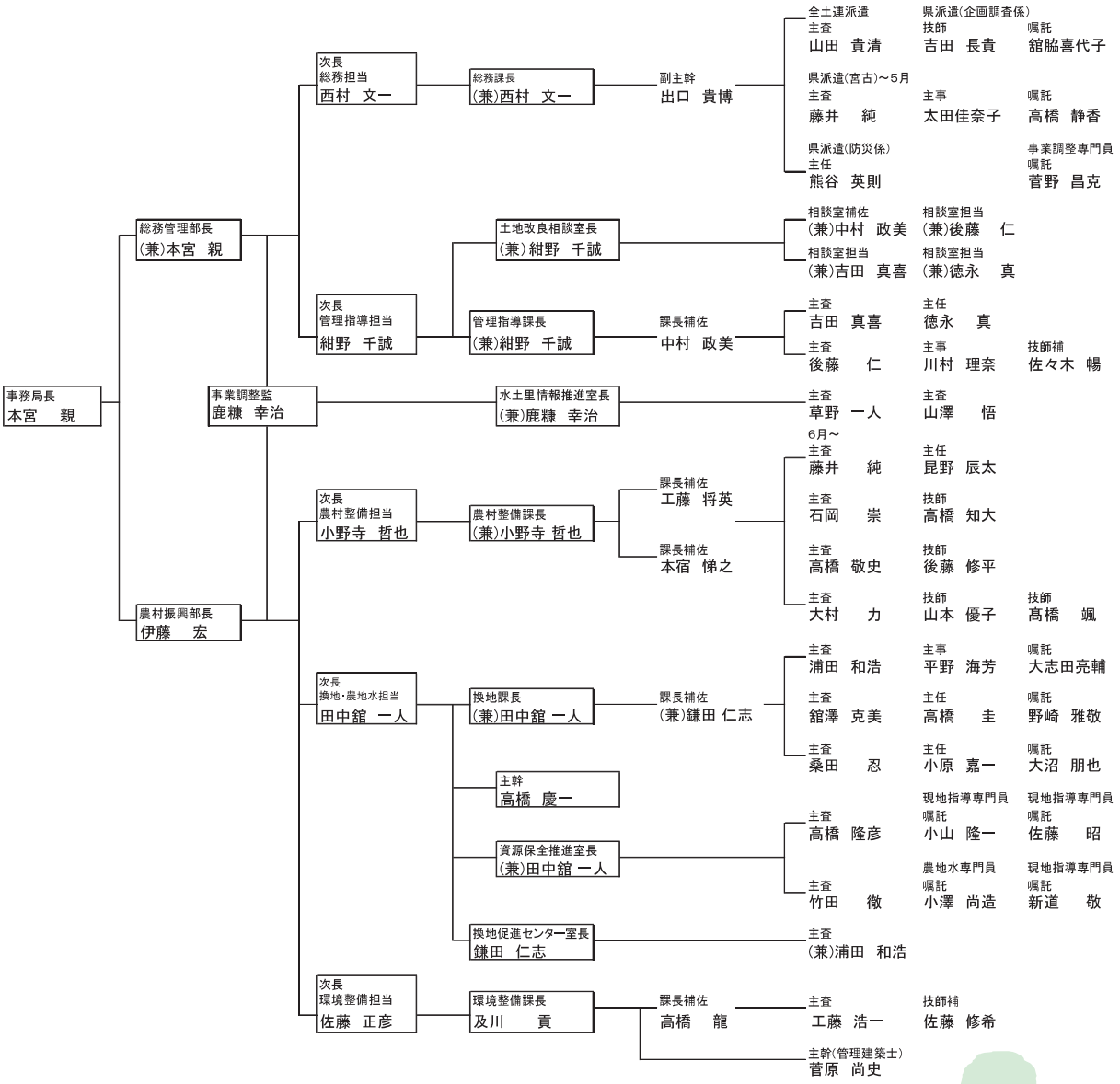
●維持管理事業の主な用途

施設の種類	維持管理事業の例示
揚排水機場	揚水機・電動機の分解、補修、電気系統の補修（制御装置含む）、除塵装置の塗装、補修
ダム、頭首工、水門	門扉、開閉装置の補修・塗装、フェンスの増新設等その他補強工事
ため池	取水ゲート・土砂ゲート・開閉装置等の塗装、補修 堤体の補修、堆積土砂のしゅんせつ、電気系統の補修
用排水路	護岸・床張・分水工・落差工等の塗装、補修 管水路の破損部分の交換、補修、ジョイント部分の補修
畑かん施設	揚水機・空気圧縮機・撒水施設等の機器類の補修 電気系統の補修、送水管・給水栓・電動弁の補修、更新
農道	敷砂利、橋梁の塗装
施設管理施設	基礎・建屋・フェンス等の補修、フェンスの新設、増設、更新、観測機器、自動制御機器類の取得、更新
土地改良区の事務所	土地改良区の事務所の新増設
巡回用ライトバン	
調査費	外注費〔水利権更新に伴う調査事業、維持管理計画書・土地改良施設台帳（農道台帳）の変更のための調査事業〕

問い合わせ先

農林漁業金融公庫盛岡支店総務課
０１９－６５３－９０５４
水土里ネットいわて管理指導課
０１９－６３１－３２０２
岩手県農林水産部農村計画課
０１９－６２９－５６７１

平成28年度　水土里ネットいわて　事務局体制図



平成27年度　水土里ネットいわて　資格取得者

○土地改良補償業務管理者（３名）

【工藤　将英】

【本宿　悌之】

【大村　力】

○ダム管理主任技術者

【工藤　浩一】

○農業水利施設機能総合診断士

【石岡　崇】

○１級土木施工管理技士

【熊谷　英則】

水土里ネットいわて今後の行事予定

5月30日（月）農業農村整備の集い　（東京都）
10月25日（火）第39回全国土地改良大会（石川県）